

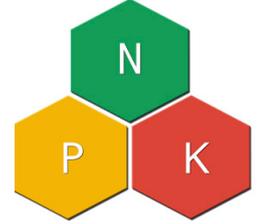


ミニシクラメンの施肥と鉢サイズ



➤ ミニシクラメンの施肥は品種ごとに鉢サイズと開花時期によって異なります。

出荷時期、天候・気候条件や鉢のサイズなどの様々なニーズに応じて、近年はミニシクラメンの品種の数が非常に増えました。それが故に、生産者にとっては施肥の適切な管理が難しくなりました。



生育が小さい品種であればあるほど、より多くの窒素を必要としています。生育期においては、25ppm Nと100ppm Nの間の窒素(NO_3^- 態; N/ K_2O :1/3)を与えるような施肥を推奨します。必要な窒素量は、品種、望んでいる開花時期と鉢のサイズの三つの要因によって変わります。同じ時期と同じ鉢であれば、メティス®と同様の株の直径を得るには、スマーティス®がより多くの肥料を必要とします。

開花期には窒素の供給量を減らすことを強くおすすめします。そのためには、同じバランスを保ちながら、ECを下げると効果的です。下記の表は、肥料に含まれている窒素量を示しています。これら数値はあくまでも参考のためのものです。灌水の方法、培養土、光の管理や鉢の種類などによって、提示している範囲を超えることもあります。またこれらの要因は株の最終的なサイズにも影響を及ぼしています。

品種と鉢サイズのバランスを取るため、窒素量をチェックしてください!

品種	鉢サイズ Ø cm	温暖地		寒冷地	
		夏と秋の生育期 ADT 20-25°C	秋の開花期	夏と秋の生育期 ADT 18-20°C	秋の開花期
スマーティス®	6	25-50 ppm N	25 ppm N	50-75 ppm N	25-50 ppm N
スマーティス®	9	50-75 ppm N	25-50 ppm N	75-100 ppm N	50-75 ppm N
スマーティス®	10,5	75-100 ppm N	50-75 ppm N	100 ppm N	75-100 ppm N
メティス®	9	25-50 ppm N	25 ppm N	50-75 ppm N	25-50 ppm N
メティス®	10,5	50-75 ppm N	25-50 ppm N	75-100 ppm N	50-75 ppm N
メティス®	12	75-100 ppm N	50-75 ppm N	100 ppm N	75-100 ppm N

鉢サイズ、気候と生産時期によって推奨されている窒素供給量 (N/ K_2O : 1/3)

施肥

長すぎた発根期で最初の施肥が遅れたこと、または供給量が少なかったことによって、開花期が早くなる可能性があります。その場合は、株がうまく成長できず、小さいサイズに留まって比較的長いステムを伸ばしてしまいます。結局は商業的価値の減少につながります。

一方で、肥料の最初の供給量が多すぎると、葉を過剰に作ってしまう場合もあります。これによって、開花が遅れたり、花茎が比較的短すぎたりします。ボトリチスを引き起すこともあります。

鉢の選択

市場に出回っている様々な鉢の中から、5°の角度で背の高いロングタイプのもを選ぶことをおすすめします。同じ直径で背の低いモデルよりも培養土のボリュームが10%以上多いです。これは、栽培密度に影響を与えることなく、より高いバッファー効果があることを意味します。

またロングタイプの鉢の場合は、灌水システムとその流量によって、上部を乾燥状態に保つことが可能で、球根に発生するボトリチスの問題を抑えることができます。